

マスコットキャラクター
『ふくまる』

2022年
3月号

地域とあなたと私を結ぶ定期便



ふくまるおすび

発行元:公益財団法人復康会 社会復帰事業部

〒410-0811 沼津市中瀬町17番11号 TEL 055-931-0510 FAX 055-934-1697

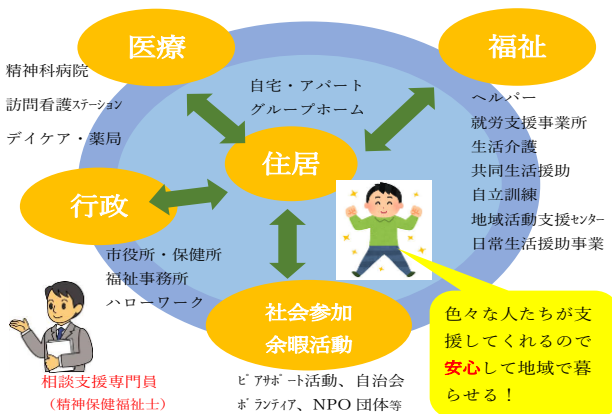
< 社会復帰事業部職員研修報告 >



「精神疾患を抱える方の地域生活を支える仕組み」

社会復帰事業部では毎年、年2回全体での職員研修を実施しています。今年度第2回目として、2月中に各事業所にて「精神疾患を抱える方の地域生活を支える仕組み」をテーマに勉強しました。

今回はゆめワークを利用中の男性メンバーAさんのご協力を得て、一週間の生活の様子を写真撮影させていただきました。それを元に研修資料を作成することができた為、受講した職員の多くが、精神疾患を抱える方の地域生活を支える仕組みや障害福祉サービス等について理解を深めることができました。



Aさんの一週間のスケジュール

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------|------------|-----------------------------|------------|------------|-------------------------|
| ゆめワーク (就B) | ゆめワーク (就B) | 精神科受診 (1/4W) 訪問看護 (1/2W) | ゆめワーク (就B) | ゆめワーク (就B) | ヘルパー 掃除 買い物 調理 |
| ゆめワーク (地活) | ゆめワーク (地活) | 福祉事務所 社協 (金銭管理) | ゆめワーク (地活) | ゆめワーク (地活) | |

現在、障害者総合支援法により、共同生活の場としてのグループホーム、就労訓練等の場である就労継続支援事業所、料理や清掃など生活支援としてのヘルパーなど様々な障害福祉サービスがあり、この圏域でもここ数年急激に事業所が増えています。他にも精神科訪問看護、社会福祉協議会による金銭管理支援、生活保護、成年後見制度など様々な支援体制が整備されています。

地域で生活されている当事者の方々は市役所に申請することで自分に必要なサービスを利用することができます。また、そのサービスについての相談や利用調整などを相談支援事業所の相談支援専門員が担っています。

ぜひ多くの当事者の方々に、これらのサービス等を利用して頂き、より安心して豊かな生活を送って頂ければ幸いです。

(研修担当：青木大輔)

ゆめワーク

ありがとう

20周年

ゆめワークは平成14年2月に開所しました。2/10(木)、雪の降る中「開設20周年記念式典」を開催。開設当初から利用されているメンバー様よりご挨拶を頂き、皆で想い出のアルバム動画を視聴するなど20年の歩みを振り返りました。これもひとえにゆめワークを慕って利用して下さるメンバー様に支えられての20年だと心より感謝申し上げます。また新たな一歩を踏み出すゆめワークを何卒よろしくお願ひ致します。(池田 友美)



ワークショップ まごころ

クオーレでは3月1日から季節限定のいちごプリンの販売がスタートしました。三島産のいちごを使用しています。プリンの濃厚な甘さと、いちごのさっぱりとした甘酸っぱさが絶妙な商品です。小さなお子様から、高齢の方まで人気の季節限定プリンです。ぜひ期間中にご賞味ください

(上柳 光)



かのん

2月18日(金)事業所内にて「防災訓練」を行いました。今回は「災害時における避難所での感染症対策」について学びました。

災害時には感染症の拡大リスクが高まるため、衛生状態を保つことが大切です。そのため、きちんと手を洗っているか、皆で手洗いチェッカーを使い確認しました。爪の汚れが残っていたと話す利用者さんが多かったです。日常生活でも、今日の訓練を生かし手洗いや消毒に気を付けていきたいです。(本田 幸江)



コーポ狩野



2月3日(木)節分の日夕食は「恵方巻」にしました。

食材はお肉と海鮮の2種類を準備、各自で巻いてもらうよう用意しました。数名はスタッフの手伝いにより太巻きが出来ましたが、自力でチャレンジした他の利用者はボールのように丸くして食べたり、太巻きにはせずいつもの食事のように食べている方もいました。「太巻きにしない方が豪華に見える」と意見があり、利用者の皆さんの発想の豊かさには脱帽です。(松田 浩子)



なかせ

ピアサポーターで作成したチラシについて、先月号の冒頭で紹介がありました。そしていよいよピアサポーターとその関係職員がチラシを持参し、駿東田方圏域にある各市町の担当者の所に出向き意見交換を行います。ピアサポーターが直接市町に伺い担当者とお話をする機会をもつことが今回の重要なポイントです。例年であれば「移動ピア連絡会（各病院を回り院内で意見交換会を行う）」を実施していましたが、それに代わる活動として考えました。コロナ禍でも可能な市町とピアサポーターとの協働の形を、来年度以降に向けて考え取り組んでいきたいと思っております。



(山崎 将展)

ひまり



2月15日(火)は精神保健連絡会でした。三島市では今から10年程前より精神障害の方の支援について保健センターと障がい福祉課、保健所、当時のなかせ三島分室を交えて情報共有やケース検討を行う場を作り毎月開催してきました。今では、この会を重ねてきたことで関係機関との情報共有もスムーズに行えるようになり、今年度いっぱい発展的解消の運びとなりました。この場のおかげで、保健所や保健センターの保健師さんとも円滑に情報共有が行えるようになりとても感謝しております。

(畠山 玲奈)

いとう

15日(火)は、センターへ月に一度来て下さっているなかせピアスタッフのお二人が来所されました。毎週火曜日はウォーキングプログラムでメンバーさんに希望を伺い、今回はピアスタッフと共に熱海市立図書館へ行くことになりました。歩いているときや休憩時間にメンバーさんがピアスタッフのお二人と楽しそうに話されている様子も見られました。参加した方が少しでもウォーキングに参加してよかったなと思っただけなら幸いです。

(福世 喜子)



↓ピアのお二人は地活のプログラムにも参加してくれています

↑憩いの場でメンバーさんと談話。この日は幻聴あるある話で盛り上がりました



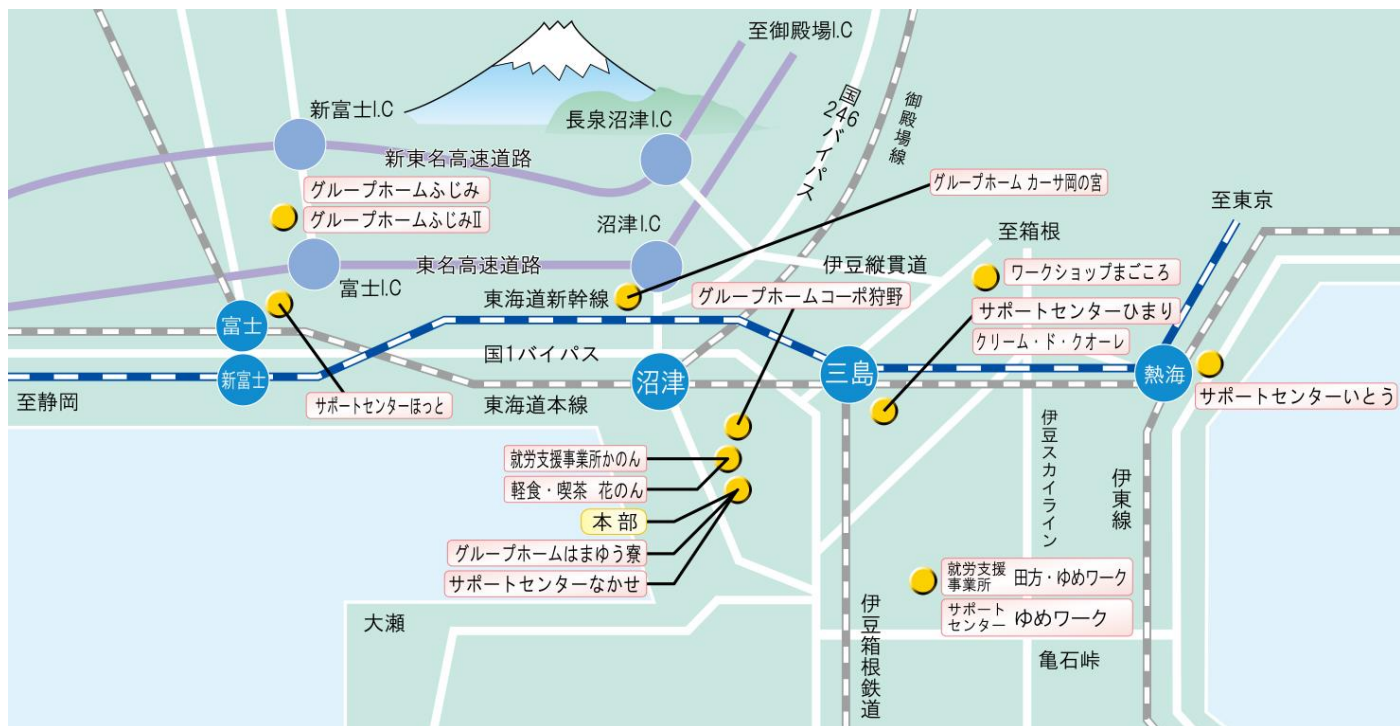
ほっと

2月1日(火)にZOOMにて令和3年度静岡県障害者虐待防止・権利擁護研修行政と相談の合同コースが開催されました。行政と合同ということで、虐待通報を受けたところから終結までの一連の流れを演習で行い、非常に勉強になりました。虐待を防いでいくには日常の支援が大切であり、虐待発生要因の解決には幅広い機関の協力が不可欠です。体制整備への関与、個人への支援など、改めてしっかりと臨んでいこうという気持ちになりました。

(新田 怜小)



社会復帰事業部施設MAP



サポートセンターなかせ 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680

サポートセンターいとう 熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル2F TEL0557-82-5680

サポートセンターゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

サポートセンターほっと 富士市日乃出町165-1 サンミック静岡ビル104 TEL0545-32-8160

サポートセンターひまり 三島市一番町7-19 高野ビル4F TEL055-991-1180

グループホームカーサ岡の宮 沼津市岡宮612番1号 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームはまゆう寮 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームふじみ・ふじみⅡ 富士市厚原1138-6 ムーンビームス TEL0545-32-8160
(サポートセンターほっと)

グループホームコーポ狩野 沼津市中瀬町24番1号 TEL055-933-1038

就労支援事業所かのかん 沼津市中瀬町19-20 TEL055-933-8500
(軽食・喫茶花のん) 沼津市中瀬町18-28 TEL055-933-8502

ワークショップまごころ 三島市字エビノ木4745-456 TEL055-985-2666
(クリーム・ド・クオーレ/作業所) 三島市一番町7-19高野ビル1F/2F TEL055-976-9000

就労支援事業所田方・ゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

編集後記

競技以外の面でも色々と話題が多かった北京冬季オリンピックも終わりました。花粉と共に、春も近づいて来ています。コロナ収束の道はまだ遠く、浮かれるわけにはいきませんが、やはり暖かくなると気持ちは少し明るくなる気がします。